

たまりば

2011年春号
Communication
通信 

◆ 発行日 2011年4月 ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

ありがとう！今年も フェスティバル大盛況

3月5日、とても良いお天気の中、今年も「たまりばフェスティバル」を開催することができました。何と今回の参加者は400人を超え、会場・すくらむ21のロビーは人・人・人！フリースペースえんがスタートしてから7回目になるフェスティバルが、メンバーをはじめいろんな人の中に根付いて来たのかなと思いました。

今年の司会は3人。ここ数年司会を務めていたヨーヘーは「お助けマン」として次世代をサポート。去年に引き続き登場したアフロのカツラにサングラスのダイキチ、紋付はかまでピシッとキメた初司会のカイト、真っ白なドレスで花を添



えた同じく初司会のカナが、ヨーヘーの助けを借りながら、劇あり、演奏あり、歌あり、映像あり、バンドありの3時間を楽しみリードしました。また、ロビーではカフェタロウや工房たまりば、書籍や鉄道写真の展示な

どもでも盛りあがっていました。

たまりばフェスティバルの一番の魅力は、何と言っても「みんなの楽しそうな姿」です。早い人は夏ごろからじわじわとフェスティバルモードになりますが、えんのメンバーの多くは直前集中型。やっとそれぞれの出し物の練習を始めても、いろんな人が集まるえんではそのやり方やペースもいろいろです。毎回メンバーが変わり、最後の最後(=本番)までどんなものになるのか見当が付きません。当日午前中に行なわれる最後のリハーサルにはいなかったのに、本番急に舞台上立つ人もたくさん。きっとそれはみんなの楽しそうな様子に思わずつられちゃうって感じなんだと思います。ひとつの完成した形を目指して練習を重ね、その成果を発表する発表会はたくさんありますが、「たまりばフェスティバル」は「その時」「そのメンバー」で、まだ見ぬ何かを作りあげるライブのようなものなのかもしれません。そしてメンバーや、見に来た人のそこを楽しむ懐の深さが、フェスティバルを毎年ステキなものにしてくれています。リピーター続出の魅力的なフェスティバル、来年もできますように！（ハイホー）

1. すみえ歌劇団(合唱)
 2. おや?おや?三年峠(親有志の劇)
 3. リブレメンテアセル(フォルクローレ)
 4. ロスえんクエントロス(フォルクローレ)
 5. 9001Fのスライドショートーク
 6. 青い空(オカリナ)
 7. 五郎劇団
 8. たまりば2010(映像)
 9. モフリゴ(ジャンベ)
 10. Okayan's great fighters(フォルクローレ)
 11. フェスティバルバンド
- 工房たまりば
Cafe Taro

NPO法人
フリースペース
たまりば
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

大雪の舞う中、米沢でスキー合宿！



2011年1月5日～7日まで、今年も米沢スキー合宿に行ってきました！なんと総勢41名。「明けましておめでとう！」の挨拶と共に、津田山からバスに乗り込み、宿泊先オーナーのパ

パさんママさんが待つ、山形は米沢ロッジグリンデルワルトへ出発です。そこはもう15年以上お世話になっているところで、何度も行っている子どもや若者にとっては「ふるさとに帰る」ような感覚。仕事をしていて、もう日常のえんにはほとんど来られない若者も、何とか都合をつけて来たりします。もちろん、初めて参加する子どもたちも多数。行ったことのある子が、初めての子にあれやこれやと嬉しそうに説明する姿も恒例です。

米沢に何度も来ているスキーやスノーボーの腕に自信のある若者たちは、「米沢マスター」と呼ばれ、「朝一滑り」を引き受けます。これは、みんなが安全に滑れる雪の状態かどうか、朝ごはんの前にゲレンデをチェックしに行くという大仕事。これまでは西やんやスタッフがやっていた役割ですが、最近では技術的にも体力的にも信頼できる若者層が増えてきたので、（決してスタッフの高齢化ではありませんよ、笑）お任せしているのです。そんな若者たちの報告を、毎朝みんな真剣に聞いています。

今年は吹雪も多く、大人たちはゲレンデに出ることに気持ちが萎えてしまっている横で、悪天候をものともせず、子どもたちは「ゲレンデ行く～！早く！早く！」と元気一杯。吹雪でリフトが止まってしまったり、あやうく遭難！？しかける場面もあつたりしましたが、大きな怪我もなく、たのしい気持ちと共に帰ってきました。帰りのバスの中で、子どもたちの「米沢帰りたーい！」の声。いやいや、まだ家にも着いてないぞ（笑）（あや）



新春の夢パは、もちつきにあり！？

1月16日(日)に夢パークやえんのスタッフに加え、夢パーク支援委員会など多くのボランティアの方と一緒に、餅つき、昔遊び・竹細工、どんと焼き、書き初めなど新春イベントを夢パークで開催しました。

年の初めのお餅つき。ついたもち米は、50kg。薪を燃やしてへっついとお釜で蒸したら、すぐ臼へ。そこからは手早く2本の杵でこねます。あとは、みんなでどんどんついたら出来あがり。子ども・若者から大人まで、たくさんの人の力を合わせてすべて人力でついていきます。夢パークでの餅つきは今年で8回目。みんなも少しずつ慣れてきて、スムーズになってきました。つきあがったお餅は、しょうゆ・きなこ・あんこ・大根おろしなどですぐにみんなのお腹の中へ。楽しく、程よく疲れ、おいしい一日でした。（ダイスケ）

「いのち」を語り、歌う。

2月11日「私という宝物」という集いを開きました。

第一部は、元夜間中学の先生、松崎運之助さんの講演。女手ひとつで松崎さんたちを育てたお母さんのお話や夜間中学の生徒さんのお話では、貧しくても、暖かい暮らしが伝わりました。アフガニスタンで亡くなった伊藤和也さんのお母さんの手記を松崎さんも声をつまらせながら紹介。会場のあちこちからすすり泣きが。第二部は、シンガーソングライター、こんのひとみさんのお話と歌。絵本「くまのこうちょうせんせい」の著者でもあります。命の燃え尽きるまで、子どもたちに命の尊さを伝え続けた校長先生の実際の言葉もまじえながら、絵本を朗読。こんのさんご自身もがんと闘っている全身から、「生きるということ」が伝わってきました。外は大雪でしたが、胸が熱くなった一日でした。（のぶこ）

春だ春だパーティー in「えん」

外火でパーティーの計画でしたが、当日はあいにくの雨。それでも、朝から10人以上のメンバーが準備に精を出し、唐揚げ、グラタン、巻寿司、サラダなどご馳走がテーブルに。50人以上の参加者の前で、春から新たなことを始める人や新しい環境に飛び込む人の報告や宣言のあと、みんなで作った「芸術は爆発だ！イチゴロールケーキ」で3月のバースデーをお祝いして、今年度を締めくくりました。（ハイホー）

『やってみよう』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



「えん」で行なわれている講座を紹介しします

TOYO ちゃんとフォルクローレ 連続講座

今回は、プロミュージシャンTOYO草薙さんを講師に招き、大変盛りあがっている「フォルクローレ講座」を紹介しします。フォルクローレ講座は、毎月1回開催しています。そこで「えん」の子どもたちは、草薙さんと一緒に演奏したり、楽器を教えてもらったりしています。まさに、本物の「音」との出会い。とても贅沢な時間です。いつも草薙さんは、子どもたちが自分のペースで演奏を学び、少しずつ上達していくことをすごく喜んでくれます。そのことが、



子どもたちの意欲と自信につながっています。そんな場に立ち合わせてもらった時、これが「本物の学び」だなあと感じます。これからも、草薙さんと一緒にみんなで音を楽しんでいきたいと思います。(ゆうき)

TOYO草薙(とよ くさなぎ)

日本を代表するチャランゴ奏者。日本で活動するプログループのMAYA、AWKIS、ELCONDORに所属。2000年よりチャランゴ研究会を設立し、後輩の育成指導に力を注ぐ。2003年には日本初のチャランゴソロCDを製作し注目を集める。



HAPPY えん プリディ

手ぬぐい100本計画実施中！たまりば20周年を記念した、たまりばオリジナル手ぬぐいを100本作ろう！さらしの布を90センチに切り、チクチク縫って絞り、本藍で染めます。多摩川(タマリバー)を表わした絞り柄に「たまりば」の文字を染め抜くオリジナル手ぬぐい。毎週火曜日、工房の日に、みんなで作り、20周年記念コンサートの時に1枚800円で販売する予定です。お楽しみに！(たかこ)

雪が積もったある日、待ってましたと雪合戦開始 至近距離で大きな雪を投げる女の子、遠くからしっかり命中する男の子、最後には泥もまざって、おおさわぎ！落ち着いた頃、雪の上に手をのせて、ガマン大会。だれが長くのせてられるかな。その傍らで手のひらサイズの小さなちいさなまくらづくり…と思いきや、そのまくらにちょんまげがついて…おとのさまの頭に大変身 (マチコ)

夢パークのあちこちに出てきたふきのとうで、春の味『ふきのとうみそ』を作りました。茹でてきざんだふきのとうをゴマ油で炒め、えんみそ・鯉節・砂糖少々・お酒・一味唐辛子(分量は全て適当)で味付けします。ほろ辛い大人好みの味と思いきや、意外と子どもたちも好きなようです。おかずを食べ終えたあと、もう一杯ご飯をおかわりして『ふきのとうみそ』でしめる子もいます。(みよし)

西野のつぶやき

3月11日、私たちが経験したことのない巨大地震が東北地方の太平洋沖で発生した。数分後に押し寄せた大津波。一瞬にして家も人も車のみこんだ。死者・行方不明者の数は、すでに25,000人を超えている。被災された方々に、心からお見舞いを申しあげたい。

そして福島原発の事故。地震国日本で原発の危険性は早くから叫ばれていたのに、まことしやかに「安全」が吹聴され、私たちはつつい楽で快適な生活へと流されてきた。

街は電飾にあふれ、いつの間にかお湯を沸かすのも、トイレを流すのも、すべて電気に依存する生活に浸っていたことに気づかされる。「便利」とはこんなにも危険と隣り合わせだったのか。「えん」の中で誰かがつぶやいた。「自分たちで手におえないものはつくらなければいいのに」。

僕の若い頃、オイルショックで深夜のテレビ放送が自粛され、飲み屋のネオンも早々に消された時代があった。それがいつの間にか節電は解除され、ファミレスからスーパーまで24時間営業の店のなんと多いこと。「より快適に、より便利さを求めて」大量に電気を消費し、その電力供給のために、たくさんの原発がつくられてきた。

いま計画停電が開始され、いたるところで節電が始まると、コンビニの看板の照明が消えていても気にならない。便座に電気が入っていても用はたせる。いつでもどこでも自販機でジュースが買えなくてもいい。お湯はやかんで沸かして、ポットにとればいい。たった、それだけのこと。

「のど元過ぎれば熱さを忘れる」。やがて計画停電がなくなる日はくるのだろう。そのとき、またしても大量の電気を使い始めるのか。少々の不便を引き受けても、放射能の恐怖に脅かされることなく、安全に暮らしたい。汚染など気にせず空気を吸い、水を飲み、おいしく食べたい。

スリーマイル島事故のレベルを超える未曾有の危機的状況は、私たちの暮らしを変える最後のチャンスなのかもしれない。(西野博之)



オーガニックカフェ



TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F

インフォメーション

詳しくは事務局まで

夢パーク: 毎日がプレーパーク

4月29日(金・祝)～5月5日(木)

夢パークで、毎日工具が使える、焚き火ができます。水遊びや泥遊びなどプレーパークを満喫する一週間。みんなで遊ぼう。

平センと歩く白馬の里 <平セン喜寿記念企画>

5月6日(金)～7日(土)

講師: 平林浩さん

白馬岳に連なるまっ白な山々、澄みきった水、早春の花々、樹々の芽吹きを彩り、小鳥たちそして山菜を訪ねて、平センと一緒に歩きますか。

夢パーク: 夢 交響楽～ドリームシンフォニー～

6月5日(日)

夢パークに特設野外ステージができる音楽イベント。ロスえんクエントロスも出演予定です。

NPO 法人フリースペースたまりば活動報告会

6月11日(土)15:00～

2010年度の活動報告をフリースペースえんで行ないます。

たまりば 20th コンサート

川崎市高津区で居場所の活動を始めて20年。「たまりば」が運営する「フリースペースえん」で音楽講座を支えて下さっている講師陣が20周年を記念して一同に会するコンサートです

日時: 7月2日(土) 14:00～(開場: 13:30)

会場: 川崎市男女共同参画センターすくらむ 21

チケット: 2,000円

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第1回 5月21日(土) 10:00～12:00

第2回 6月18日(土) 10:00～12:00

第3回 7月9日(土) 10:00～12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>

子ども・青年にかかわる人に必要な

精神医学の基礎

講師: 石川憲彦さん

(児童精神科・小児科医、林試の森クリニック院長)

シリーズ 「安全・安心の病理」

第5回 「社会不安と脅迫」

4月20日(水) 高津市民館 <受付終了>

シリーズ 「活力と充足の病理」(全3回)

第6回 「乱用と依存」 5月18日(水) 高津市民館

第7回 「うつ病とはなにか」 6月15日(水) 高津市民館

第8回 「人格とは何か」 7月13日(水) 高津市民館

東北関東大震災に伴い、日程を変更していますので
ご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます (2010.12.15～2011.3.10)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金して下さった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

海老沢和子、渥美和紀、石橋充行・大吉、石山桂子、金子大也・麻子、木島龍次・美代子、菊地圭太・真由美、
児島順子・満仲人、角之上浩美、竹内太郎、田辺待子、田老伸匡、木村陶子、山田恵理子・弦太郎、中村公一、
中川裕子・博貴、長谷川和子・新之介、細谷加代子、村上信雄、毛井海渡・大智、矢崎美穂子、柳生幸子、和田優子、
飯沼光津子、倉方洋行、山崎祐子、関伊都子、住政二郎、久保田睦子、吉岡ます子、森光子、常川恵子、有賀直美、
福田由利、平島春美、上原利夫、岡本恵子、小黒敦希、小坂陽子、三好洋子、百済喜代、長谷川俊雄、渡邊雪枝、
齋藤こえ子、坪井節子、小柳恵子、澤畑勉、伊野俊信、おーまきちまき、細見慶子、菊地晃彦、細田和恵、高野元恵、
友兼清治・悦子、小川久仁子、門田啓子、スサンタ・スラセーナ、大井正子、埴田恵子、長谷川靖子、大垣真理子、
長敬弘、塩倉直子、西村勝男、豊田悦子、千葉たき子、立川長坦、きれいにし隊、工房バザ-売上

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先 郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

* 郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は (支店名を「セ」で検索してください)

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富、山下)